

第3回分科会での意見について

資料1

| 委員名 | 意見要旨 | 事務局の見解 |
|------|--|---|
| 山本委員 | <p>私自身が中学三年生のときに学校で川越市出身の元プロ野球選手の講演を聞くことができた。元プロ野球選手の実体験を聞いて、私自身も刺激を受け、それまでと180度意識が変わった。また、周りの友達の多く、特に野球部の友達も同様だった。</p> <p>子どもたちが意欲的に目を輝かせて話を聞いたり、自分の思いを話したりできる機会を提供することは、教育と福祉の観点とリンクするかと思うので、特に予算関係かと思うが、教育委員会と子ども家庭センターとで連携し、教育のカリキュラムに組み込まれた形での体験学習として実現していただきたい。</p> | <p>教育委員会において、市立中学校生徒を対象として、生徒の将来の夢や希望を育み、進路意識の啓発・高揚を図るために、「川越市キャリア教育講演会」事業を実施しております。本事業における、地域の人々や卒業生等との連携による講演会を通して、生徒・保護者の意識を啓発し、中学校のキャリア教育の推進を図っています。</p> |
| | <p>放課後の学童保育を利用することもだけでなく、利用しない子どもも対象とした放課後体験教室があれば良いと思う。放課後の活動は学校と切り離されて考えられるため、主体としては家庭センターが担うのが望ましいかと思われる。</p> <p>その場において、各校区にある囃子連の体験や、楽器の体験、スポーツ体験、囲碁将棋、昭和遊びなど、地域や地元に着目しつつ、様々な体験が出来る機会を設けることで、子どもたちの幅広い可能性や視野を広げることが出来ると思う。</p> <p>また、子ども達に何をしたいかを聴取し、実現してあげられれば、更に子どもの意欲につながると思う。</p> | <p>教育委員会において、既に「放課後子供教室」という事業を実施しております。本事業は、子どもたちが放課後に安心・安全に過ごし、多様な体験や活動ができるよう、地域住民等の参画を得て、学習や体験・交流活動を行っています。</p> <p>子どもたちに多様な体験や活動を提供すること、またその活動を通して地域住民等との交流を図ることを目的として、今年度、市内の小学校16校において実施しております。</p> |
| | <p>不登校児に学習機会を設ける必要があると思う。現在、各校には不登校児を対象とした支援室があると聞いたが、人材確保や予算などが厳しいのではないと思われる。</p> <p>他市町村において、教員の必要な加配に係る予算に対し、福祉予算を配分したという話を聞いたことがある。</p> <p>川越市子ども計画は全ての子どもを取り残さないを銘打っている以上、教育委員会と連携して、実態把握を行い、現状を改善すべく対策を取って欲しいと思う。</p> <p>不登校の理由は様々だが、教室に入ることができない児童に、別の方法での学習の機会を提供すること、またそのような学習の環境づくりは必要不可欠だと思う。</p> | <p>御意見のとおり、次期計画においては基本理念として「全ての子ども」と銘打っており、この考え方としまして「誰一人取り残さず、全ての子ども・若者の権利を保障し、一人ひとりの最善の利益を第一に考える。」という思いを込めております。</p> <p>不登校児童生徒への対応については、以前に本分科会の中で委員より「各学校において様々な工夫を施し、校内学習室を新たに設置するなど、子どもたちが安心して過ごせる場所を作っている」とお話をいただいた。</p> <p>そのような形で、既に各学校において対応いただいているものかと思いますが、実態を把握し、改善させていくための不断の見直しは重要ですので、引き続き、対応の検討を進めて参りたいと考えております。</p> |